

産業ジェロントロジーを生かした 持続可能な組織・社会モデルへの提言



企業における高齢者雇用を生かした SDGsへの取り組み方

企画・作成 崎山みゆき

- ・一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会代表理事
- ・株式会社自分楽代表取締役
- ・ジェロントロジーカフェ 代表

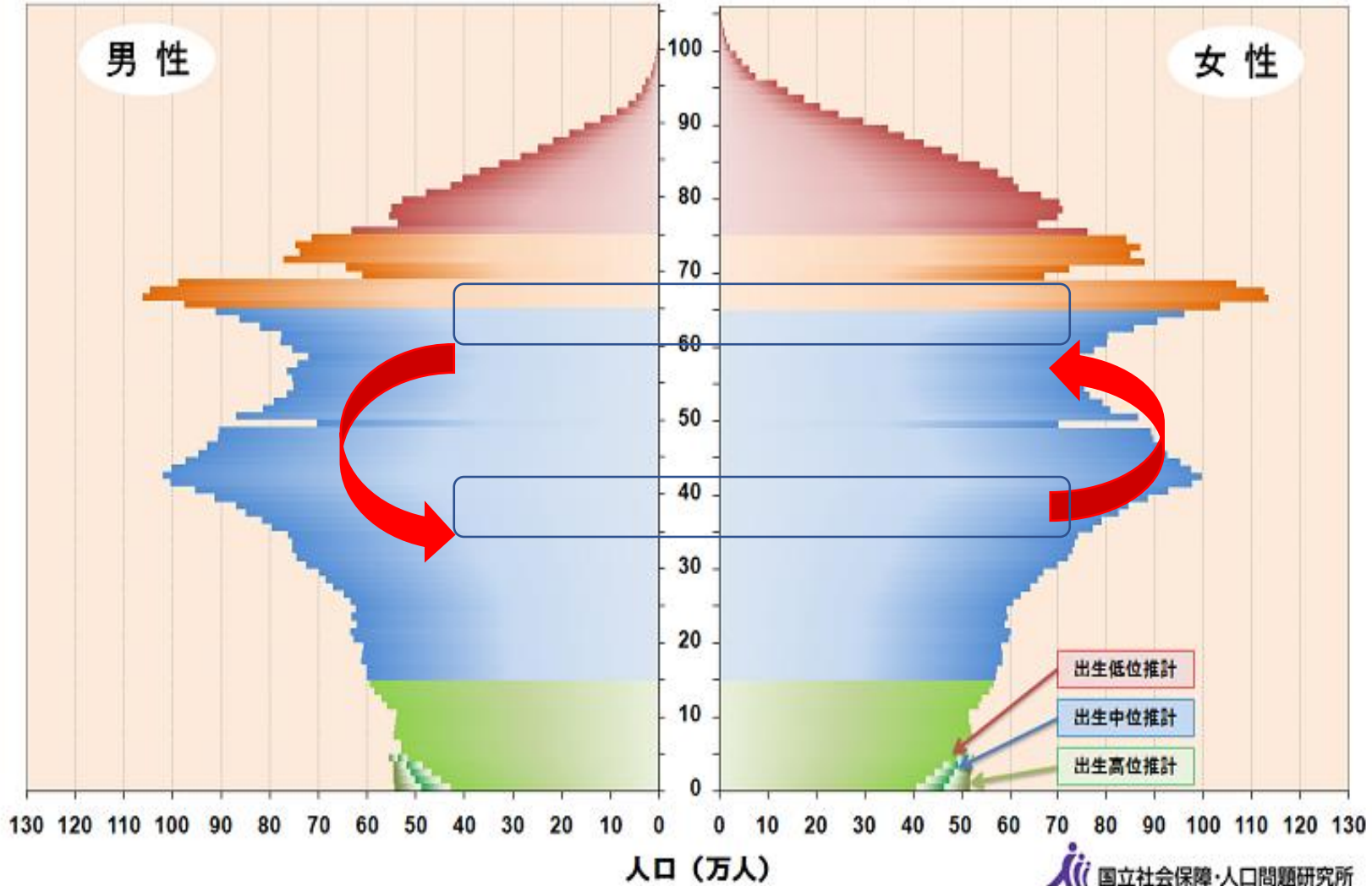
本資料・コンテンツの無断使用はお断りいたします。

世界的な問題 「高齢社会」において 誰一人残さず 健康・豊か・幸せになるために

- **個人（従業員側）がすべきことは何か？**
- **組織（企業側）がすべきことは何か？**
- **両者の取り組みが相乗効果を醸し出し
10年後も持続可能・成長し続ける仕組みとは？**

高齢社会の企業の在り方

シニアが若手を支える仕組み



資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

若手がシニアを活かす仕組み
「シニア理解・エイジズム対策」

～ 産業ジェロントロジーで解決! ～ 「シニアの就労」を通じて 個人・組織が持続できる高齢社会

持続可能な
循環型社会!



高齢者・中年・
こども...
全世代幸せ



高齢者の
・知識・経験 活用
・経済的自立
・健康

中年の 時間・精神的ゆとり
・残業なし「働き方改革」
・リカレント・職業教育
・介護離職なし

こどもの
・家庭教育の充実
・精神的な安定
・経済的なゆとり



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
世界を変えるための17の目標



「シニア世代発! 全世代で創る、新しい働きがい・生きがいのある社会」



私たちが描くのは、シニア世代が仕事を通じて健康・経済・生きがい諸々において自立をする社会。その喜びは、こども、その親と全世代に広がります。墨絵で日本の高齢社会モデルを、やさしさこめて表現しました。

祖父母がにこやかに、二人でデート。シニア割引ですが年金ではなく各々が稼いだ給料。帰りは共働き娘夫婦と待ち合わせです。「おばあちゃんのお仕事は、病気の人のお世話で大変」「そうね。でも、ロボットが手伝ってくれるから重いものは運ばなくていいのよ。」と孫との日常会話も…。

「人生100年時代」と言われる高齢社会において、仕事は健康・経済・生きがいの特效薬。しかし現状のシニア世代は定年と共に仕事を失い、地域の無償ボランティアや子どもの家事手伝いと活躍の場が激減し、心身・経済共に不健康になりがち。

働くシニアは、SDGsの中でも、特に4・8・12を解決します。

(Gerontologyは加齢学・老年学を意味し、実社会に活かす学際的な研究・実装です)